

令和7年度

ESD・SDGs出前授業

未来のみんなが今と同じように地球で暮らしていくために、
「私たち」にできることは？



岡山地域の児童・生徒を対象に、さまざまなテーマのSDGsに関する出前授業を無料で実施します。岡山県内でSDGsのゴールの達成に向けてターゲット(具体策)に取り組む講師が、実践を踏まえた授業を行います。

将来の持続可能な社会づくりの担い手を育てるため、貴校でのESDの取組として、ぜひご活用ください。

時間

1回2コマ以内(45～50分/コマ)
※各校年間2回まで

対象

岡山地域の小学生・中学生・高校生

費用

無料 ※備品の準備や資料の印刷等は、
原則、学校にて対応ください。

人数

原則、クラス単位

※学年単位は相談ください。
少人数グループの授業は、
お断りすることがあります。

申込期間

2025年5月1日～2025年12月26日

授業期間

2025年6月2日～2026年2月13日

岡山ESD推進協議会



認定NPO法人AMDA社会開発機構

世界の多様性と格差からSDGsを学ぼう
ー「誰一人取り残さない」世界の実現に向けて
今、私たちが知るべきことややるべきことー

SDGsは日常生活に密接に関わるもので、自分や教室と世界がつながっていることに気づくことを目指す。世界の多様性や格差を体験的に学び、遠い世界を身近に感じる。国際社会の一員として自分ができることは何か考え、行動に移すことを促す。



対象	□小1～2 □小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 ☑高校生
方法	☑座学 ☑ワークショップ形式 ☑オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) □2コマ(計90分程度)



一般社団法人おかやまエコサポーターズ

サステナブルファッション
地球とひとにやさしい服の選び方

服ができるまでを知り、流行を追う消費行動で起こる地球環境負荷や人権(児童労働)などの社会課題を生んでいることを紹介するとともに、解決に向けた県内外の取組を紹介する。自身と家族の行動変容につなげる。



対象	□小1～2 □小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 ☑高校生
方法	☑座学 □ワークショップ形式 □オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)



OKAYAMAお片づけチームmomo

片づけ×防災 暮らしを守る工夫と実践

自分に必要なもの・こと・情報を取捨選択する力、管理し無理なく維持する力を身につける「片づけ」と災害に備えるために自分に必要なもの・こと・情報を知り、行動に繋げる「防災」を体験型ワークで楽しく実践的に伝える。



対象	☑小1～2 ☑小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 ☑高校生
方法	☑座学 ☑ワークショップ形式 ☑オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)



公益社団法人倉敷青年会議所

SDGsの世界的な問題をより身近に

「2030 SDGsカードゲーム」や「地方創生 de SDGsカードゲーム」のほか、「識字」「教育と資金」「ごみ問題」「水」をテーマにしたSDGs授業を実施する。次世代を担う子ども達が、ゴールに向けて行動すること、行動が習慣化することを目指す。(授業は12月末まで対応可)



対象	□小1～2 ☑小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 ☑高校生
方法	☑座学 ☑ワークショップ形式 ☑オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)



株式会社ココピア

持続可能な未来をつくる

～大量廃棄から学ぶSDGsとコミュニケーションの力～

遺品・生前整理、不用品回収等の現場で直面する大量廃棄、孤独死や自死、ごみ屋敷などの社会課題の解決を模索してきた経験を踏まえた講義や、カードゲームやワークによる対話から、多様性尊重の重要性を伝える。SDGsのゴールとの関連を示しつつ、社会課題を主体的に考え、行動する力を養う。



対象	□小1～2 □小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 ☑高校生
方法	☑座学 ☑ワークショップ形式 ☑オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)



一般社団法人コノヒトカン

子ども達と描く明るい未来、缶詰から始まる物語

缶詰「コノヒトカン」を題材に、SDGsのゴールに沿ったアクティブラーニング型授業を実施。フードロスや「つくる責任・つかう責任」、貧困問題をテーマに、実例を交え「今からできること」を考える。社会問題を自分ごととして捉え、具体的な行動につなげることを重視。食の大切さや持続可能な未来への意識を育み、社会課題解決への第一歩を踏み出すきっかけを提供。



対象	☑小1～2 ☑小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 ☑高校生
方法	☑座学 ☑ワークショップ形式 □オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)



NPO法人タブラサ

イベントごみと海洋プラスチック
～ごみのゆくえと私たちの責任～

私たちの身近なイベントごみがどのようにして海洋プラスチックごみとつながっているのかを考える。プラスチックそのものが問題なのか、はたまた、ごみが適切に処理されずに自然環境へ流出してしまうことが問題であるのか、という様々な視点でごみの課題を一緒に考えていく。



対象	☑小1～2 ☑小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 ☑高校生
方法	☑座学 ☑ワークショップ形式 □オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)



長野紘貴

SDGs×テクノロジー
「SDGsの仕事ずかん -未来編-」
「SDGs入門 -テクノロジー編-」

SDGsに沿って世界にはどんな問題があるのか、AIなどのテクノロジーによって私たちの生活や仕事はどう変わるのかを紹介する。子どもたちが未来の仕事を考え、想像できるように具体的な事例を交えて伝える。(※オンライン授業のみ)



対象	□小1～2 □小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 ☑高校生
方法	□座学 □ワークショップ形式 ☑オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)

中平徹也

- ① 脱炭素社会の実現に向けた環境学習
- ② 持続可能な社会に向けて私たちにできること
- ③ 食品ロスの削減に向けた学習
- ④ ESD・SDGs入門講座
- ⑤ その他、エコに関する講座は何でも可

受講者に正しい情報を伝え、本当のことは何なのかを理解し、エコな活動を実践する人材を育成することを目指す。

対象	□小1～2 □小3～4 □小学5～6 □中学生 □高校生
方法	☑座学 ☑ワークショップ形式 ☑オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)

HIT-LAB (ヒット・ラボ)

みんなで考えよう地域の未来・地球の未来

SDGsを中心とした社会課題を取り上げながら、社会生活や協同性、豊かな感性を伸ばすプログラムを実施する。

ー過去の実績ー

児童労働、エシカル消費、食品ロス、地球温暖化、生物多様性等、幅広くわかりやすく伝えるワークショップや環境授業を行う。



対象	☑小1～2 ☑小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 □高校生
方法	☑座学 ☑ワークショップ形式 ☑オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)

公益財団法人水島地域環境再生財団

水島の公害と未来、環境再生のまちづくり

地域開発と暮らし・健康・まちづくりについて紹介する。
大規模な工業地帯のある水島には大気汚染で苦しんだ経験がある。公害を無くそうと企業・行政・住民がどんな行動をしたのか、また環境再生のまちづくりから、未来を考える学びを提供する。



対象	☑小1～2 ☑小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 □高校生
方法	☑座学 ☑ワークショップ形式 ☑オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)

認定NPO法人ハート・オブ・ゴールド

幸せって 何だろう

国際協力の活動を紹介する。途上国を理解し、交流・支援活動を実践し、自分たちでできる交流・支援を考え、世界を知る一助とする。相手の立場に立つ事や継続する大切さ、みんなと協力する楽しさなどを知る。異文化を理解し、また、自分たち自身を理解する発見ともなり、身近なところから社会を変えていく喜びを経験する。



対象	☑小1～2 ☑小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 □高校生
方法	☑座学 □ワークショップ形式 ☑オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)

正宗幸子 ファッション de SDGs

※①～④の組み合わせも可能。

- ①洋服は、何からできている？ ファッションの歴史から学ぶSDGs
- ②世界のファッション業界のSDGs 地域の繊維産業や企業の現状
- ③これからの衣料品の3Rを表現「リデュース：無駄を無くす」



“ひとりひとりの内面・外面の個性の魅力を活かす”ための「パーソナルカラー診断」

④「見え方の多様性」

全ての人が暮らしやすいユニバーサルカラーを学ぶ。将来のデザイン活動に！ファッション・インテリア・印刷物など、ビジネスに活用。

対象	☑小1～2 ☑小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 □高校生
方法	☑座学 ☑ワークショップ形式 □オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)

Life is

ESD視点による包括的性教育を学ぶ

助産師として、包括的性教育の観点から、あなたたちは唯一無二の存在というメッセージを核に、「自分と他者が共に幸せになるためには」を考える力、伝える力、行動に移す力などを育む。
特にジェンダー・平和・貧困の切り口から、生き辛さを抱える人を減らしたり、応援することについて、ワークショップ等を交えて共に考える。(60～80分程度の授業が理想的)



対象	☑小1～2 ☑小3～4 ☑小学5～6 ☑中学生 □高校生
方法	☑座学 ☑ワークショップ形式 ☑オンライン授業 ☑1コマ(45～50分程度) ☑2コマ(計90分程度)

ESD Education for Sustainable Development
教育の観点を生かし、持続可能な社会づくりを目指す取組です。
将来にわたって安心して暮らせる社会の実現のために何ができるかを学び合い、考え、行動する人を育てます。

SDGs Sustainable Development Goals
貧困や環境破壊、持続的な生産と消費など、地球のさまざまな課題の解決のために、2030年までに達成を目指す国際目標です。多様性豊かで包摂的な社会を目指し、「誰一人取り残さない」をキーワードに、未来を変えるために、先進国も発展途上国も、個人も企業も自治体も、世界中のみんなで行います。

実績

R5年度 28回(小学校13、中学校6、高校9)
児童・生徒 1,506名

R6年度 35回(小学校25、中学校4、高校6)
児童・生徒 2,474名

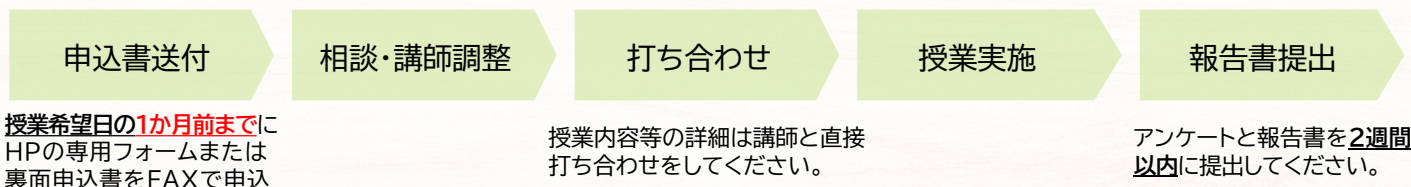
授業内容については、学校のニーズに応じてできるだけ柔軟に検討します。
SDGsネットワークおかやまHP
「ESD・SDGs出前授業」に掲載の実施要項や確認事項をご覧ください。



令和7年度ESD・SDGs出前授業 申込書

学 校 名		担 当 者 名	
電 話 番 号		メールアドレス	
受 講 者	_____年生 _____人	実施場所の想定 (各教室、体育館など)	
希 望 講 座	講師名: _____ 講座テーマ: _____		
実 施 希 望 日 時	第1希望: _____月 _____日() _____時 _____分 ~ _____時 _____分		
	第2希望: _____月 _____日() _____時 _____分 ~ _____時 _____分		
	第3希望: _____月 _____日() _____時 _____分 ~ _____時 _____分		
使用可能な機材 (○をつけてください)	プロジェクター ・ スクリーン ・ マイク ・ その他()		
講座実施の背景	※これまでのSDGsに関する授業の経験、今回の授業のねらいなど		
そ の 他 (ご希望・ご要望など)			
確 認 欄	下記に同意いただける場合は、右の□にチェックをしてください。		☐
	● 授業希望日の1ヶ月前までに申込みください。 ● 実施後、2週間以内に「児童・生徒アンケート」および「報告書(写真付き)」を提出ください。様式は授業実施の決定後にお送りします。 ● 希望多数の場合は、申込期間中であっても予告なく受付を終了することがあります。 ● 申込にあたっては、ホームページに掲載している「実施要綱」および「学校向け確認事項」を事前に確認してください。 ● 日程や内容によってはご希望に添えない場合があります。		

申込から授業実施までの流れ



申込・問合せ先

SDGsネットワークおかやま
(事務局:特定非営利活動法人岡山NPOセンター)

出前授業の詳細情報は、以下のホームページもご覧ください。

〒700-0822

岡山市北区表町一丁目4-64上之町ビル3階 NPO法人岡山NPOセンター内

T E L: 086-224-0995

FAX: 086-224-0997

Email: sdgs.okayama@gmail.com

U R L: <https://sdgs-okayama.jp/demaeclass/>



 SDGsネットワークおかやま